

考え方

若者の結婚や子どもを生ま育てたいという希望を叶えるとともに、女性や若者をはじめ、多様な人材を惹きつける「仕事」と「地域」を創造することで、人口減少のスピードを緩和。

これまでのWGの意見、地域の声、有識者意見、道民意識調査、人口動態実態調査・要因分析(中間報告)、新たな総合計画(原案)を勘案

課題	重点的に取り組むべき事項（想定される主な対応策）	論点
① 少子化への対応	<p>若者の結婚や子どもを生ま育てたいという希望を叶える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性、若年層の所得向上・雇用の安定（特に女性の正規雇用機会の拡充） ● 共働き共育ての推進（家庭と仕事の両立、社会・職場の意識改革、職場の環境整備） ● 結婚を望む方への応援強化 ● 妊娠・出産・子育て支援の強化（環境整備、経済的負担軽減、社会全体の気運醸成） 	<p>①左記の内容について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加すべき事項がないか ・優先度（重点化）について ・緊急度（時間軸）について <p>ご意見頂きたい。</p>
② 女性・若年層の転出超過への対応	<p>女性や若者をはじめ、多様な人材を惹きつける「仕事」と「地域」を創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女性、若年層の所得向上・雇用の安定（特に女性の正規雇用機会の拡充）【再掲】 ● ジェンダーギャップ、性別役割分担意識、アンコンシャスバイアスの解消 ● 女性にとって働きやすい多様な雇用先・職場を地域に創る ● 地域の魅力を高めるとともに、女性や若者が活躍できる地域を創る（社会的起業の促進や地域と関わる機会の創出） ● 優位性やポテンシャルを活かした産業（仕事）の創造（エネルギー、デジタル、食、観光） ● 教育環境の充実（子育て世帯の呼び込み・定着） ● ターゲットに応じた移住、U I J ターンの施策推進、関係人口の創出・拡大 ● 地域おこし協力隊の定住促進 	<p>②左記内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果や進捗を図る指標としてふさわしいと考えられる指標についてご意見頂きたい。
③ 札幌一極集中への対応	<p>過度な人口集中を緩和し、持続可能な地域づくりを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌のポンプ機能の強化（大学と地域の連携、学生が地域に関わる機会の拡充） ● 地域の中核都市のダム機能の強化（圏域機能の強化、広域連携の推進） ● 各地域における①、②の施策の実施 	
④ 外国人受入への対応	<p>外国人に選ばれ、安心して働き暮らすことができる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多言語に対応した相談対応の充実 ● 日本語学習機会の提供、市町村の外国人受入に関する対応力の強化、多文化共生社会の形成 ● 地域の企業等における外国人受入環境づくりへの支援 	

参考

新たな北海道総合計画
(原案・事務局案)指標の例

- ・ 合計特殊出生率
- ・ 育児休業取得率(男・女)
- ・ 女性、若者就業率
- ・ 人口の社会増減数
- ・ 外国人居住者数
- ・ 地域おこし協力隊員数 等